

戸開走行保護装置

定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準

認定番号	UCMP 型式	認定番号	UCMP 型式
ENNNUN-1905	DBGJP-1A	ENNNUN-1909	DBGJP-5A
ENNNUN-1906	DBGJP-2A	ENNNUN-1910	DBGJP-6
ENNNUN-1907	DBGJP-3A	ENNNUN-1911	DBGJP-7
ENNNUN-1908	DBGJP-4A		

発行：平成 30 年 6 月 25 日 Ver. 3

	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準
(1)	安全制御プログラム	型式	安全制御プログラムの型式を保守ツールにて確認する。 基板の型式を目視にて確認する。	大臣認定を受けた型式と同一でないこと。 指定されている型式と同一でないこと。
		作動の状況	ドアゾーン外で走行中に戸開状態にして模擬した場合の動作を確認する	戸開走行保護装置が作動しないこと。 電動機及びブレーキの励磁コイルが電源から遮断されないこと。(S1,S2,UDX)
(2)	つま先保護板	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。
		長さ	かご床面からつま先保護板直線部までの長さを測定する。	規定値未満であること。 765 mm 又は 790 mm (ENNNUN-1910,1911 は巻上機により違う)
(3)	特定距離感知装置	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。 過度の変形があること。
		動作位置	動作位置を確認する。	規定位置で動作しないこと。 ±60 mm ±15 mm
(4)	部品	規定部品の型式	目視により確認する。	規定部品の型式が適正なものでないこと。
		規定部品の交換基準	目視及び触診により確認する。	規定部品の動作回数又は経過時間が規定値を超えていること。 摩耗量が規定値を超えていること。 S1,S2：300 万回又は使用年数 10 年 UDX：1000 万回又は使用年数 10 年
(5)	巻上機	制動面の油の流出状況	目視により確認する。	制動面に油が付着していること。
		油排出場所の油の流出状況		シール部から油が流出していること。
(6)	ブレーキ	パッドの厚さの状況	可動制動板とコイルケースの隙間を測定する。	隙間が 0.4mm を超えること。(要重点点検) 隙間が 0.45mm を超えること。(要是正)
		パッドの状況	目視により確認する。	パッドに欠損、割れがあること。又は剥離していること。
		ブレーキパッドの動作感知装置	ブレーキ開放時及び締結時の動作感知装置の接点信号動作を確認する。	ブレーキの開閉と接点信号動作が一致していないこと。
上記 (1) ～ (6) の検査結果で「否」又は別記第一号 2-(3)・3-(3)・4-(11) の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合、別記第一号 2-(9) 「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。				

この印刷物に記載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

著作権所有：日本オーチス・エレベータ株式会社